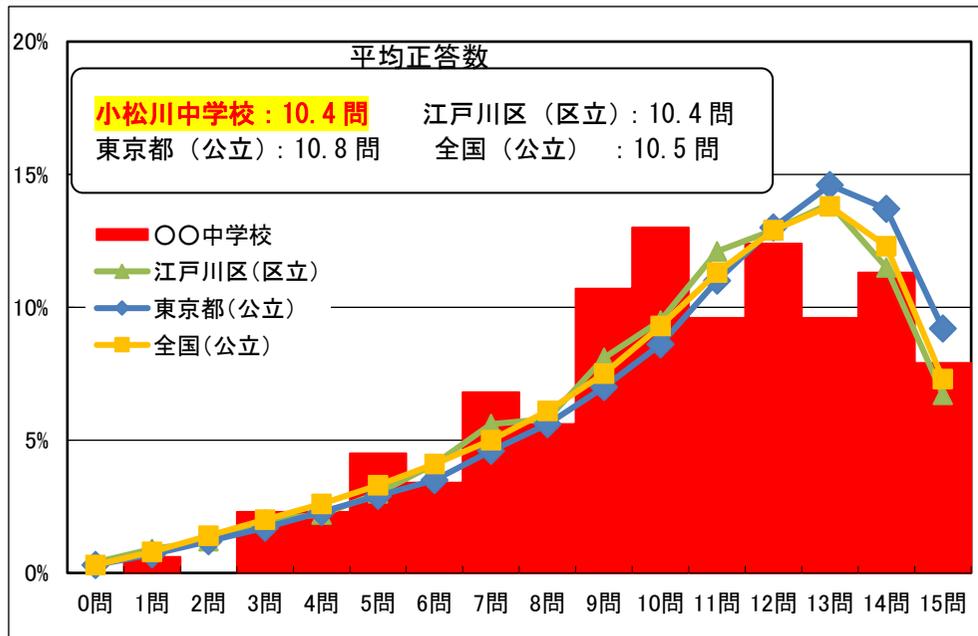


# 令和5年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【国語】小松川中学校

## 正答数分布

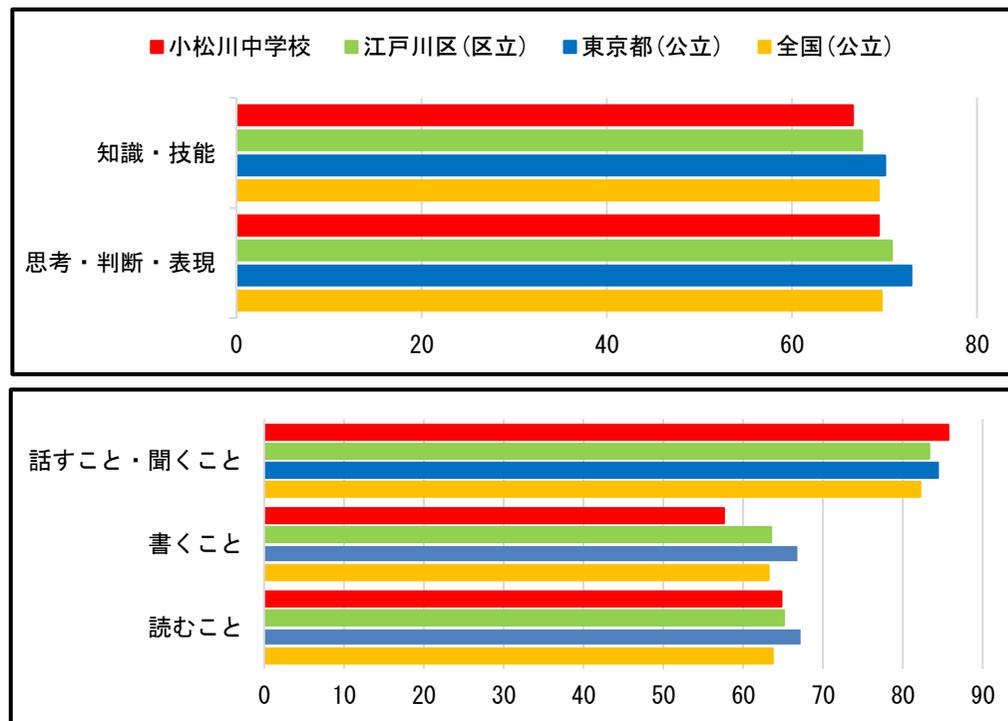


## <四分位における割合(都全体の四分位による)>

国語	上位 ← 下位			
	A層 13~15問	B層 12問	C層 9~11問	D層 0~8問
小松川中学校	28.8%	12.4%	33.3%	25.5%
江戸川区(区立)	32.1%	12.9%	29.7%	25.3%
東京都(公立)	37.5%	13.0%	26.6%	22.9%
全国(公立)	33.4%	12.9%	28.1%	25.6%

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、生徒数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって生徒をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の生徒の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。

## 「領域別」の結果



## 【平均正答率の差】

小松川中学校	69%
江戸川区(区立)	69%
東京都(公立)	72%
全国(公立)	69.8%
都との差	-0.8 ポイント

## 【分析結果と授業改善に向けて】

- ①目的や場面に応じて質問する内容を検討する問題は全国・都平均よりも正答率が高かった。スピーチや話し合い活動の中で効果的にメモを取る力がついていると考えられる。
- ②読み手の立場に立って、叙述の仕方などを確かめて文章を整える問題は、全国・都平均よりも正答率が10ポイント以上下回っている。場に応じた文章を書く力をつけるために、ポイントを絞り継続的に指導を続けていく。